

鳥取市の取り組みについて

(農業振興課)

テーマ	鳥取の食による地域活性化の取組について
鳥取市の取組み状況 (現状)	<p>本市では、東部広域行政管理組合と連携して、関西圏を中心に平成 24 年 10 月から「プチ・マルシェ事業」を進めています。(名称にある「プチマルシェ」とは「小さな市場」という意味)</p> <p>本市の農業者の生産する野菜で、JA 等の規格が合わないもの。ロットが少なく質が良くても出荷が出来ないもの。それらを関西地方の店舗を中心に一箱 3,000 円分を詰めて発送(販売)することで農業者の所得向上に繋げるものです。</p> <p>また、大阪朝日ビルディングフェスティバルプラザにおいて、本市の農産物等を「グリーンマーケット」として、マルシェ形式で販売しています。</p> <p>農業者と販売店を直につなげることで、流通コスト(中間マージン)が抑えられ、且つ時短(産直)、消費者の声がダイレクトに届くことが魅力となります。</p> <p>「プチマルシェ」 25 年度 活動実績：平成 25 年 6 月末時点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プチ・マルシェ展開店舗(大阪、兵庫、京都の花屋、パン屋、クリーニング店、ゴルフ場等) 合計 19 店舗(うち平成 25 年度新規 2 店舗) ・鳥取東部プチ・マルシェ参加農家 19 件(うち鳥取市 14 件) うち平成 25 年度鳥取市新規 4 件) ・プチ・マルシェ箱出荷ケース 合計 69 ケース <p>「グリーンマーケット」 《25 年度 活動実績》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年 4 月～6 月 月 1 回(第 1 土曜日) ・平成 25 年 7 月以降 月 2 回(第 1、第 3 土曜日)
今後の方針等	<p>現在、東部広域行政管理組合に帰属する鳥取いなば協力店を中心に事業 PR を行っているが、さらに県外での事業 PR 活動を展開するため、大阪市内のガソリンスタンド等に事前にダイレクトメールを送り、反応があった店舗について重点的に事業 PR を行うことを計画している。</p> <p>今後はこの戦略を、ゴルフ場、コンビニ、パン屋、車のディーラー等に行う予定であり、営業訪問により店舗のニーズに応じたプチ・マルシェ BOX を提供する。</p> <p>現在のプチ・マルシェは店舗(業務用)向けであり、グリーンマーケットの利用客は、個人向けの BOX を希望する声が多いため、個人向けの 2,000 円 BOX を作成し、新しい販路となるよう PR を行う。</p> <p>また、びよんびよんネット制作の事業 PR 用 DVD を店舗やグリーンマーケットで、映像による事業 PR を行っていく。</p>
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の展開店舗、参加農家はまだまだ少ないので、今後は更なる拡大を図るため各種説明会、広報を積極的に行う必要がある。 ・品目が少ない・ロットが少ない農家については、恒常的な出品が困難なため、それらを纏める生産者集団が必要となる。 ・生産者は物の提供はできるが販売員の動員は難しい(時期的なものが主)と言われているが、生産者が出役していくように取り組む必要がある。 ・「打って出る農業の推進」ばかりでなく、市内のわったいな等に「来てもらう農業の推進」を図る必要がある。 ・観光、水産物等も含めて連携を図ることで、本市の観光、農産物の PR を図る必要がある。

その他 ※参考資料等があれば添付してください。	別添のとおり
----------------------------	--------

※参考資料については、様式など問いません。

参加いただける生産者を募集しています。

Petit Marche "IL OTTOT"

"IL OTTOT"
Petit Marché



生産者と消費者を直接つなぐ近所の小さな産直売場

(プチ・マルシェ『イル・オット』)

■「プチ・マルシェ “イル・オット”とは

鳥取県東部（因幡）地域の農産物等をより多くの方に広め、販路を開拓する事を目的としたまったく新しい販路形態です。

生産者は、その日に収穫した新鮮な農産物を定期的に東京や大阪などの販売店に宅配便などを使って直接に販売します。

いわゆる中山間地と都会をつなぐ「おすそわけ」感覚です。

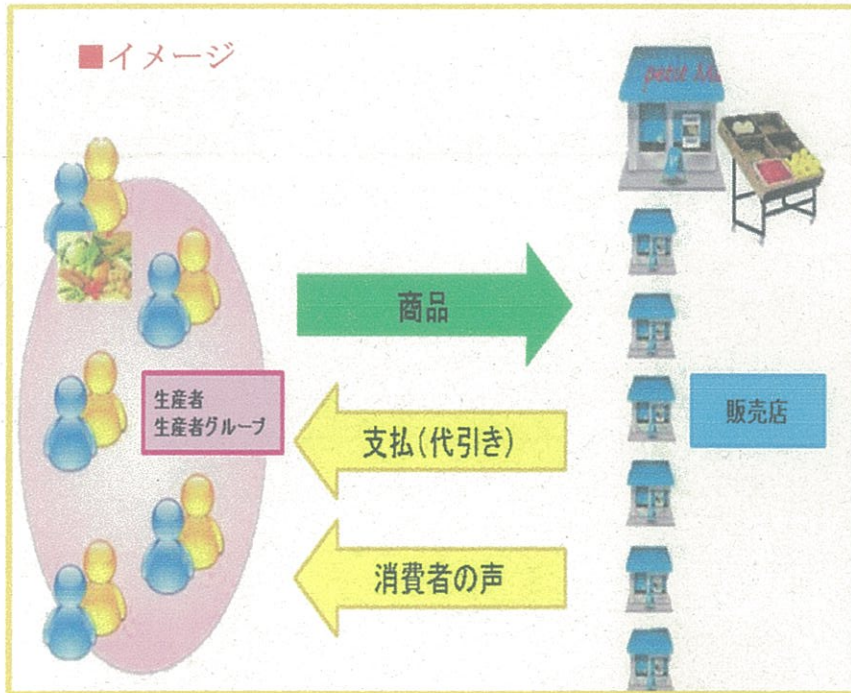
販売店は、生産者から送られてきた農産物を自由に価格設定して近所の消費者の方々に販売します。

■プチ・マルシェのメリット

◆「やりがい」や新しい「結びつき」の創出

◆「新しい販路」や「新たな所得」の創出

- 規格外の農産物や特別栽培物でも販売することが可能です。
- 生産者と販売店とが直接コミュニケーションすることで、鳥取中山間地と都会との新たな「結びつき」が生まれます。
- 消費者ニーズがフィードバックされることで、新たな「やりがい」が生まれます。
- 収入増加が期待できます。
- 新たなビジネスチャンスが期待できます。



■生産者さん側の具体的な作業内容 ～収穫から出荷まで～

本事業に参画される生産者（グループ）は、その日に収穫した農産物を調整（袋詰など）して、販売店が希望する「プチ・マルシェ箱」単位（※）であらかじめ指定された住所に宅配便で定期的に発送していただきます。

※プチ・マルシェ箱単位とは、配送される農産物の量（中味）で、

例えば・・・◆3,000円箱（農産物7～8品目で計15～16袋程度）のような購入単位となります。

※プチ・マルシェ箱の配送料は販売店の負担となります。

■販売店側の具体的な内容 ～仕入から販売まで～

販売店は、契約した配送ペースで送られてくるプチ・マルシェ箱内の農産物を、「プチ・マルシェ・ワゴン」に陳列して販売していただきます。

その際の売価は、個々に自由に設定していただけます。

農産物の購入金額と売価の差額が、販売店の利益となります。

農産物はその都度、完全買取をお願いします。

プチ・マルシェ箱の配送ペースは、例えば

◆週1回プラン◆週2回プラン、◆月1回プラン◆フリープラン

のように選べます。また、変更も可能です。

■取り組みたい・興味がある生産者さんは

収穫年間スケジュールを作成いただき、ご相談下さい。

作出荷いただける作物や量等を確認し、条件が合う生産者を「プチ・マルシェ参加農家」として登録し、販売店とのマッチングを行います。

問い合わせ先

鳥取市役所 農業振興課 生産流通振興室 担当：入江、今村

電話：0857-20-3074 FAX：0857-20-3047



PLAZA Green market

プラザ
グリーンマーケット

鳥取県の生産者が採れたての新鮮野菜を直接販売！



鳥取の産直野菜を中心に、大阪朝日ビルディングフェスティバルプラザでマルシェ形式で販売します。

鳥取の生産者が大阪の消費者へ直接自分たちの作った作物などをPRしながら販売するもので、毎月第1、第3土曜日に開店します。

※プラザグリーンマーケットは鳥取市が東部広域行政管理組合と協力して、新たな販路として取り組んでいるプチ・マルシェ『イル・オット』の販路拡大と鳥取市の観光PRなどと併せて生鮮野菜を販売するものです。